

# 投資指南

証券調査室 岡田裕恭  
地情情報室 森裕恭



バイオ企業となる。

れている。

こうしたさまざまな顔を  
持つ同社にさらに  
新たなイメージが加わ  
りそう。ペロブスカ  
イト電池を開発したこ  
とによる、再生エネ  
ルギー企業としての顔  
で大阪府堺市にある  
シャープ本社工場を譲  
り受け、生産ラインを  
新設している。今後、第  
3145億円となる見  
通しだが、そのうちの  
半分は政府からの補助  
金で賄うことになって  
いる。同社は国策の一  
翼を担う企業として政  
府からも期待されてい  
るのである。株価は2  
600円台で推移して  
いる。PER(株価収  
益率)は15倍台で割高  
感は乏しい。

積水化学(4204)

は、ウエハーの研磨、切

きく異なる。住宅部門

の売上高は150

は高機能プラスチック断といった後工程で、からみればセキスイハス、住宅、環境・ライウエハーを固定するたイムの知名度の高さかフライン、メディカルめに使われる。固定はら、プレハブ住宅メーある。の四つの事業部門から接着剤、絶縁材料としカーと思われるであろ

ペロブスカイト電池

新設している。今後、第

## 積水化学

# イメージ異なる4事業部門 ペロブスカイト電池に将来性

前期ベースでみると売上高の規模が大きいのは住宅だが、利益ベースでは、

高機能プラスチックでも機能しているの

う。環境・ライフライは薄くて、軽く、柔軟

2生産ライン、第3生

のウエートが最も大きくなっている。このプラスチックの用途は、取り上げるかによつて、そのイメージは大

同社は、どの部門をフラ企業となる。さらットが低いといったメリ見通しで、量産化が本ットがあり、将来的に格化する2030年度は大きな需要が期待さには積水ソーラーフィ

感益は乏しい。

